

■ C T 検査（造影） 注意事項 ■

1. C T 検査当日の来院時間等について

受付を済ませ、検査予約時刻の **20 分前**までにこの【検査予約票】と【問診票・同意書】を1階⑩番受付に提出してください。

造影検査の場合は3ヶ月以内の腎臓・肝臓の血液検査結果を確認して行います。当日の血液検査結果が必要な場合がありますので、採血がある方は検査予約時刻1時間前までに採血を済ませておいてください。

※3ヶ月以内にかかりつけ医で採血されている場合は、その結果をお持ちください。

2. 食事制限等について

『午前の検査の場合は朝食を、午後の検査の場合は昼食を』抜いて水分摂取のみにして下さい。

(造影検査の場合は、腎の副作用を軽減するため水分は充分摂取してください。)

※高血圧・心臓病の薬はいつも通り服用してください。

※糖尿病の内服・注射はせずにお越しください。

3. 検査の取り消し等は、必ず受診科へご連絡ください。

4. 入院患者さんはお呼びするまでお待ちになってください。

5. その他不明な点は、担当医師にご質問・ご相談ください。

造影C Tを受けられる患者さんへ

C T検査では、ヨード系造影剤を使用することがあります。

造影剤は、より正確な診断をするために使用しますが、別紙に記載されているような副作用が起こることがあります。

造影剤を使用しなくても検査はできますが、病気の種類によっては、病変が検出されなかったり、確実な診断ができなかったりする可能性があります。

また、造影CTに代わる検査として超音波検査、MRIなどがありますが、撮像部位や病気の種類によって、それぞれ利点、欠点があります。

不明な点は、担当医師等にご質問、ご相談ください。

■各造影剤の使用で起こる可能性のある副作用について■

1. **軽い副作用**:吐き気、かゆみ、発疹、熱感、注射部の痛み、動悸等です。
これらの副作用は、治療を要さないかあるいは投薬や注射で回復するものです。
起こる頻度は100人に5人以下です。
2. **重い副作用**:呼吸困難、意識障害、ショック等です。入院、救命処置が必要なもので、後遺症が残ることもあります。このような重篤な副作用が起こる頻度は、2.5万人に1人です。
3. 病状、体質によっては、死亡することもあります。きわめてまれなもので、40万人に1人程度です。
4. **遅発性の副作用**:まれに検査数10分後から数日後に遅れて起こる副作用です。発疹、かゆみ、むくみ等の皮膚症状がほとんどです。
5. 造影剤は、機械を用いて急速に注入するため血管外に漏れることがあります。注射部位が腫れ、痛みが伴うことがあります。
通常は自然に吸収されますが、漏れた量が多い場合は処置が必要になることがあります。

※造影剤使用の必要性と危険性をご理解いただいた上で、問診票に

お答えください。

※お答えの内容によっては、危険性が高いと判断し造影剤を使用し

ない場合があります。